

みんななかまさ!

〈 きれいはいのプログラム 〉

しかい : かなざわ けいこ

- | | |
|--------------|------------------------|
| 2、みんなで歌うた | |
| 3、みんなでいのる | ♪「世界中のこどもたちが」P. 28 |
| 4、みんなで読むせいしょ | 主のいのり P. 92 |
| 5、みんなで歌うた | ヨハネによる福音書第16章5-15節 |
| 6、みんなで聞くおはなし | ♪「弥勒世界報(みるくゆがふ)」P. 60 |
| 7、みんなで歌うさんびか | 「ねんねこさっしやりませ」すがさわ くにあき |
| 8、けんきん | 讚美歌66番♪「せいなるせいなる」P. 72 |
| 9、しずかなころ | ♪「いまそなえる」P. 92 |

〈今日の活動〉 なわとび

〈 ほうこく 〉

10日(日)は、「なく」でした。絵本「最初の質問」(著:長田 弘、画:いせ ひでこ/講談社、2013年)を読んでくださいました。「今日、あなたは空を見上げましたか。空は遠かったですか、近かったですか」こんな素敵な言葉で始まるこの本は、長田 弘さんの本です。やわらかい言葉でゆったりと語りかけてくる質問に出会います。それは、毎日の生活の中で、忙しさにかまけて忘れていたり、見ることを忘れていたり、思い出させてくれる温かい質問ばかりでした。



活動は、お母さんも一緒に、園舎2階で、積み木であそびました。1チーム5~6人ほどで、全部で5チーム。まずは、8枚の積み木から八角形を並べるところからスタートです。摘み始めると、低学年のお友だちが土台をしっかりと支え、高くなってくると、高学年のお兄さんたちの出番です。小さい子たちも、「もっと高くない!」と、椅子や机を使いながら一生懸命工夫をしていました。そして、いちばん高く積み上げたのは、はるくんチームの55段! 天井につきそうなほどの高さに、みんなから歓声があがりました。でも、積み木の楽しさは、積むだけでは終わりません。今度は、みんなでそれを倒します。「どこを抜いたら大丈夫かな?」頭をしっかりと守りながら、下の方から1枚ずつ慎重に抜いていく姿に、大人たちも思わずドキドキ。何枚も続けて抜いていく強者もいて、最後は…、「どっしゃー——ん!!」大きな音と迫力に、笑い声と歓声がいっぱい広がりました。みんなで力を合わせ、考えて、工夫して、ドキドキワクワクをたっぷり味わった積み木の時間でした。

〈 こどもといのる 〉

急に暑い日も増えてきました。園庭のケヤキは、やさしい木陰をつくり、そよそよと風を運んでくれています。青空を見上げながら、大きく息をすって、「さあ、今日もはじめよう」と思えるような、そんな日々が続きますように。(かなざわ けいこ)

〈 おしらせ 〉

◇夏の「こうどう・子ども沖縄キャンプ」のお知らせが出ています。締切が早いですが、悩まれている方は、一度、ご相談ください。

牛乳パックを集めています。集まった牛乳パックは「おかえりティッシュ」「ただいまロール」になります。牛乳パックは、45094枚から 35枚 集まりました。合計 **45129枚** になりました。2016年5月末に80000枚に到達し、2016年6月より新たにカウントをスタートしています。

2026年5月10日(日)





五けれども今わたしは、わたしをつかわされたか
 たのところに行こうとしている。しかし、あなたがたの
 うち、だれも『どこへ行くのか』と尋ねる者はない。六か
 えって、わたしがこれらのことを言ったために、あなた
 がたの心は憂いで満たされている。七しかし、わたしはほ
 んとうのことをあなたがたに言うが、わたしが去って行
 くことは、あなたがたの益になるのだ。わたしが去って
 行かなければ、あなたがたのところに助け主はこないで
 であろう。もし行けば、それをあなたがたにつかわそう。
 八それがきたら、罪と義とさばきとについて、世の人の目
 を開くであろう。九罪についてと言ったのは、彼らがわた
 しを信じないからである。一〇義についてと言ったのは、
 わたしが父のみもとに行き、あなたがたは、もはやわた
 しを見なくなるからである。一一さばきについてと言った
 のは、この世の君がさばかれるからである。

三わたしには、あなたがたに言うべきことがまだ多く
 あるが、あなたがたは今にはそれに堪えられない。三けれ
 ども真理の御霊が来る時には、あなたがたをあらゆる真
 理に導いてくれるであろう。それは自分から語るのでは
 なく、その聞くところを語り、きたるべき事をあなたが
 たに知らせるであろう。四御霊はわたしに栄光を得させ
 るであろう。わたしのものを受けて、それをあなたがた
 に知らせるからである。五父がお持ちになっているもの
 はみな、わたしのものである。御霊はわたしのものを受
 けて、それをあなたがたに知らせるのだと、わたしが
 言ったのは、そのためである。